

**受益者の皆様へ**

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「アジア・ダブルプレミア・ファンド」は、2019年5月7日に第12期決算を行いました。

当ファンドは「中華圏株式マザーファンド」および「ASEAN地域株式マザーファンド」を通じて、「中華圏」および「ASEAN地域」の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況をご報告申し上げます。今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

**アジア・ダブルプレミア・  
ファンド**  
**愛称：龍虎**

商品分類（追加型投信／海外／株式）

第12期（決算日 2019年5月7日）

作成対象期間：2018年4月28日～2019年5月7日

第12期末（2019年5月7日）	
基準価額	9,554円
純資産総額	897百万円
第12期	
騰落率	△6.2%
分配金合計	0円

(注) 騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、約款において運用報告書（全体版）を電子交付することが定められています。運用報告書（全体版）については下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

**<閲覧方法>**

右記URL⇒ファンド情報⇒当ファンド名を選択⇒各種資料のダウンロード⇒「運用報告書（全体版）」を選択

**T&Dアセットマネジメント株式会社**

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

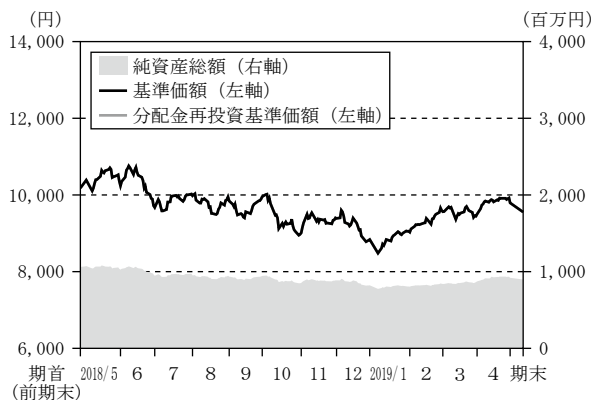
お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<https://www.tdasset.co.jp/>

## 基準価額等の推移



第12期首：10,181円

第12期末：9,554円 (既払分配金 0円)

騰落率：△6.2% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、期首 (2018年4月27日) の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

## 基準価額の主な変動要因

「中華圏株式マザーファンド」および「ASEAN地域株式マザーファンド」を通じて、中華圏やASEAN地域の株式に投資しており、主にASEAN地域および中華圏の株式が下落したことが基準価額 (分配金再投資ベース) 下落の要因となりました。

### ■ 組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
中華圏株式マザーファンド	△3.5%
ASEAN地域株式マザーファンド	△6.4

## 1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2018/4/28～2019/5/7		
	金額	比率	
平均基準価額	9,615円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 ( 投信会社) ( 販売会社)  ( 受託会社)	197円 ( 121) ( 69)  ( 7)	2.053% (1.254) (0.721)  (0.078)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 ( 株式) ( 新株予約権証券) ( 投資信託証券)	23 ( 23) ( 0) ( 0)	0.243 (0.242) (0.000) (0.001)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 ( 株式) ( 新株予約権証券) ( 投資信託証券)	18 ( 18) ( 0) ( 0)	0.191 (0.190) (0.000) (0.001)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 ( 保管費用)  ( 監査費用) ( その他 1) ( その他 2)	71 ( 69)  ( 1) ( 0) ( 0)	0.740 (0.722)  (0.016) (0.002) (0.001)	(d) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他 1 は、金融商品取引を行うための識別番号に係る費用等 その他 2 は、金銭信託に係る手数料等
合計	309	3.227	

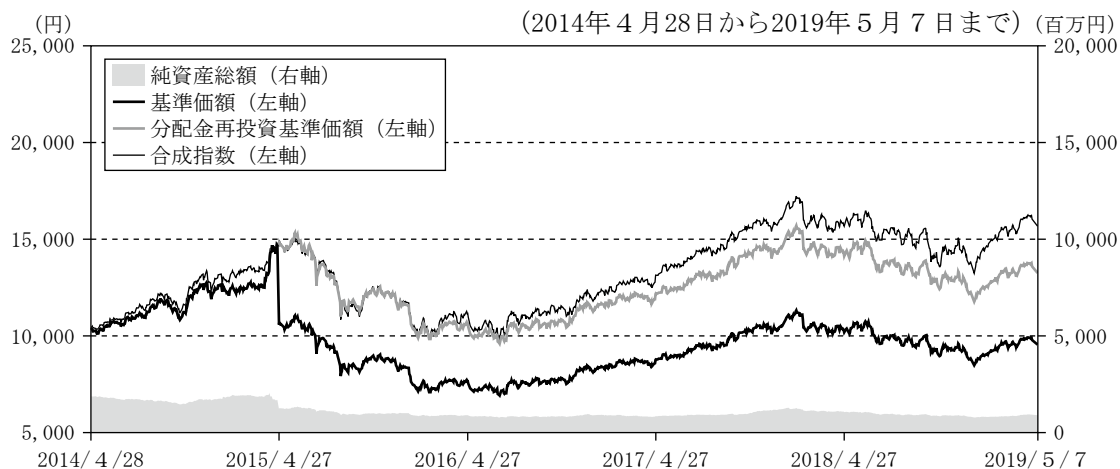
(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首（2014年4月28日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2014年4月28日 期初	2015年4月27日 決算日	2016年4月27日 決算日	2017年4月27日 決算日	2018年4月27日 決算日	2019年5月7日 決算日
基準価額（分配落） (円)	10,409	10,575	7,665	8,785	10,181	9,554
期間分配金合計（税込み） (円)	—	4,100	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	41.0	△ 27.5	14.6	15.9	△ 6.2
合成指数騰落率 (%)	—	42.4	△ 24.7	17.8	19.2	△ 0.0
MSCIゴールドドラゴンインデックス （税引前配当込み、円換算）騰落率 (%)	—	55.0	△ 27.5	22.9	21.2	1.4
MSCI東南アジアインデックス （税引前配当込み、円換算）騰落率 (%)	—	21.2	△ 19.8	8.5	15.1	△ 3.1
純資産総額 (百万円)	1,875	1,199	898	851	1,061	897

- (注) 合成指数は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。詳細は後述の「指数に関して」をご参照ください。

## 投資環境

---

### ■ 中華圏株式市況

香港株式市場は下落しました。米中貿易摩擦に対する懸念や中国の低調な経済指標を受けて投資家心理が悪化したことで、2018年8月にかけて株価は下落しました。その後も、中国系通信機器会社を巡る米中対立の激化懸念に加え、主要国の低調な経済指標から世界的な景気減速懸念が広まり、2018年の年末まで株価は軟調に推移しました。年明け以降は、米中通商協議を通じた貿易摩擦問題の緩和への期待が高まったことや、中国の全国人民代表大会で発表された景気刺激策が好感され、株価は下落幅を縮小して期末を迎えました。

台湾株式市場は上昇しました。米中貿易摩擦の動向や軟調な海外株式市場が意識され、2018年の年末にかけて株価は下落しました。しかし、年明け以降は、米中貿易摩擦の緩和見通しや中国の景気刺激策への期待感から、投資家心理の改善に伴って株価は反発しました。

### ■ ASEAN地域株式市況

ASEAN地域株式市場は全体的に下落しました。2018年6月に、米国が中国製品に対する追加関税措置を発表し、中国が即座に報復措置を表明したことを受けて、米中貿易摩擦への警戒感が強まり、米国の保護主義がグローバル経済に及ぼす悪影響が意識されるなか、株価は大幅に下落しました。その後も、米国の長期金利の急速な上昇や利上げへの警戒感、英国のEU（欧州連合）離脱交渉を巡る不透明感などが市場心理の悪化につながり、株価は上値の重い展開となりました。期の後半には、トランプ米大統領が「中国に対する追加関税を発動しない可能性がある」とコメントしたことを受けて、米中貿易摩擦への懸念が一旦和らいだことや、パウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長の金融引締めに慎重な姿勢ととれる発言を受けて、米国の利上げが休止されるとの観測が台頭したことが株価の押し上げ要因となりました。一方、欧米や中国の弱い経済指標や、米国において景気減速の予兆とされている長短金利の逆転がみられたことなどを背景とした世界的な景気減速懸念が、株価の上値を押さえる展開となりました。

### ■ 為替動向

外国為替市場では、期中の対円為替レートは香港ドルが+1.2%、台湾ドルが△2.7%、シンガポール・ドルが△1.3%、マレーシア・リングgitが△4.3%、インドネシア・ルピアが△1.3%、タイ・バーツが+0.3%、フィリピン・ペソが+1.4%となりました。

## 当該投資信託のポートフォリオ

---

### ■ 当ファンド

期を通じて、「中華圏株式マザーファンド」に63~65%程度、「ASEAN地域株式マザーファンド」に33~36%程度投資を行いました。

## ■ 中華圏株式マザーファンド

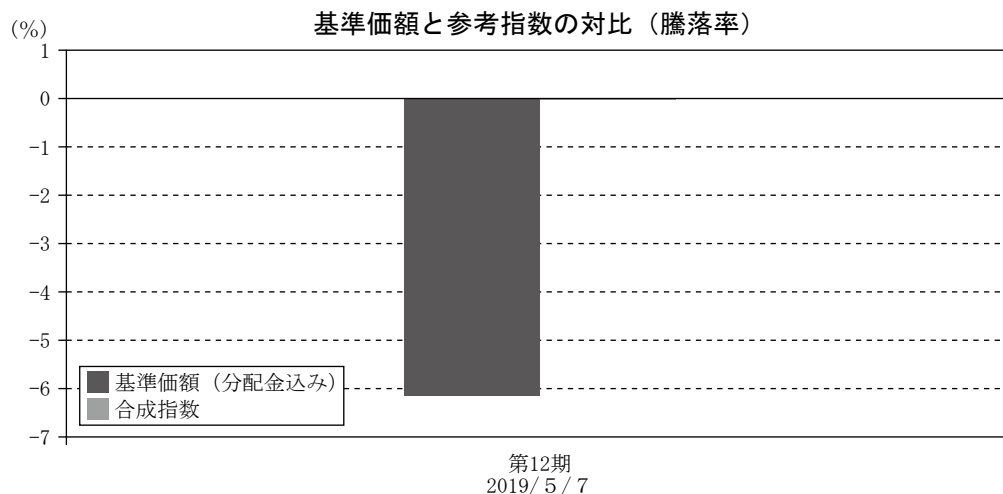
銘柄選択にあたっては、インフラ関連セクター、消費関連セクターや資産価値の上昇から恩恵を受ける銘柄等を重視しつつ、中長期的な観点から成長性が期待でき、相対的に割安な銘柄に選別投資しました。また、個別銘柄の業績動向を勘案しながら、ポートフォリオ全体のリスク低減を図る目的で機動的な売買を行いました。期末時点での組入上位の業種は、保険、半導体・半導体製造装置、不動産、各種金融、食品・飲料・タバコとしました。

## ■ ASEAN地域株式マザーファンド

銘柄選択にあたっては、個別企業のボトムアップアプローチを中心にトップダウンによるカントリー・アロケーションやセクター判断を加味し、中長期的な観点から今後高い成長が期待でき、相対的に割安な銘柄に投資を行いました。また、個別銘柄の騰落を勘案しながら、ポートフォリオ全体のリスク低減を図る目的で機動的な売買を行いました。国別では、インドネシア、フィリピンについてポジティブな見通しを持つ一方、タイ、マレーシアについては慎重な見通しとして投資を行いました。期末時点での組入上位の業種は、銀行、素材、資本財、食品・飲料・タバコ、運輸としました。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



## 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は基準価額水準、市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	当期
	2018年4月28日 ～2019年5月7日
当期分配金	0
（対基準価額比率）	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,223

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### ■ 当ファンド

「中華圏株式マザーファンド」65%、「ASEAN地域株式マザーファンド」35%を基本構成比とし、マザーファンドを高位に組入れる運用を行います。

### ■ 中華圏株式マザーファンド

運用にあたっては、国泰君安アセット（アジア）に運用の指図に関する権限の一部を委託します。銘柄選択にあたっては、中長期的な観点から今後高い成長が期待でき、相対的に割安な銘柄に投資します。香港市場については、安定的なキャッシュフローが期待される銘柄や、消費関連および技術革新より恩恵を受けるテクノロジー関連セクターに注目しています。台湾市場については、スマートフォン向け半導体の需要増加より恩恵を受けるテクノロジー関連銘柄に注目します。

### ■ ASEAN地域株式マザーファンド

運用にあたっては、日興アセット（アジア）に運用の指図に関する権限の一部を委託します。銘柄選択にあたっては、中長期的な観点から今後高い成長が期待でき、相対的に割安な銘柄に投資します。米国において、景気減速の予兆とされている長短金利の逆転がみられ、欧州や中国においては製造関連の経済指標の軟化が続くなどもあり、グローバル経済の減速懸念が拡大しています。しかしながら、ASEAN諸国においては、主に内需の伸びを牽引役とした経済成長の継続が見込まれ、特に、グローバルな景気循環との相関が低いとされているインドネシア、フィリピンについてポジティブな見通しをもっています。インドネシアについては、ジョコ・ウイド大統領が再選されたことによってインフラ開発などの政策の継続が見込まれることから、インフラ関連銘柄を選好します。また、内需セクターや鉱業セクターに注目しています。フィリピンについては、インフレの落ち着きが続いており、また、選挙を控えて政府支出と民間消費の活性化が期待されることから、航空や食品、不動産といったセクターを選好するほか、鉱業セクターに銘柄選択の機会を見込んでいます。

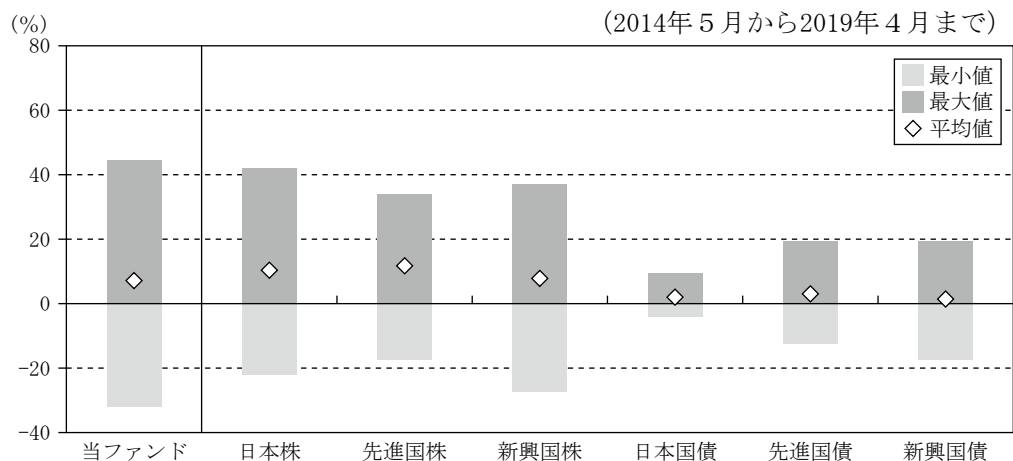
## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	信託期間は原則無期限です。	
運用方針	<p>主としてマザーファンドを投資対象とし信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。</p> <p>原則として為替ヘッジは行いません。</p> <p>マザーファンドの運用にあたっては、「中華圏株式マザーファンド」は国泰君安アセット（アジア）、「ASEAN地域株式マザーファンド」は日興アセット（アジア）に運用の指図に関する権限の一部を委託します。</p>	
主要運用対象	ベビーファンド	「中華圏株式マザーファンド」および「ASEAN地域株式マザーファンド」を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資することがあります。
	中華圏株式マザーファンド	香港、上海、深センおよび台湾の証券取引所の上場銘柄ならびに事業展開や投資活動が中華圏を中心に行われている企業の発行する株式で、他の株式市場の上場銘柄を投資対象とします。
	ASEAN地域株式マザーファンド	ASEAN地域の証券取引所の上場銘柄ならびに事業展開や投資活動がASEAN地域を中心に行われている企業の発行する株式で、他の株式市場の上場銘柄を投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	中華圏株式マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
	ASEAN地域株式マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	



## 【参考情報】

### ■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	7.2	10.4	11.7	7.8	2.0	3.1	1.4
最大値	44.4	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△31.9	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4

(注) 上記は、2014年5月から2019年4月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

(注) 当ファンドおよび代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものであり、全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 騰落率は直近月末から60ヵ月遡って算出した結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

### ○各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債

先進国債・・・FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

※詳細は後述の「指数に関して」をご参照ください。

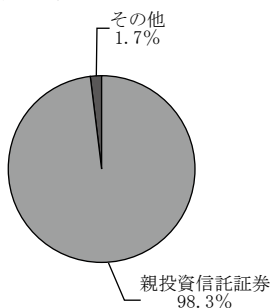
# 当該投資信託のデータ

## 当該ファンドの組入資産の内容

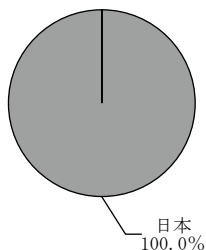
### ■ 組入（上位）ファンド（銘柄）

銘柄名	当期末
	2019年5月7日
	比率
中華圏株式マザーファンド	63.7%
A S E A N地域株式マザーファンド	34.6
その他	1.7

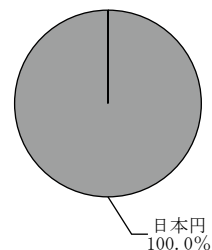
### ■ 資産別配分



### ■ 国別配分



### ■ 通貨別配分



(注) 組入（上位）ファンド（銘柄）および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 国別配分は発行国を表示しております。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 純資産等

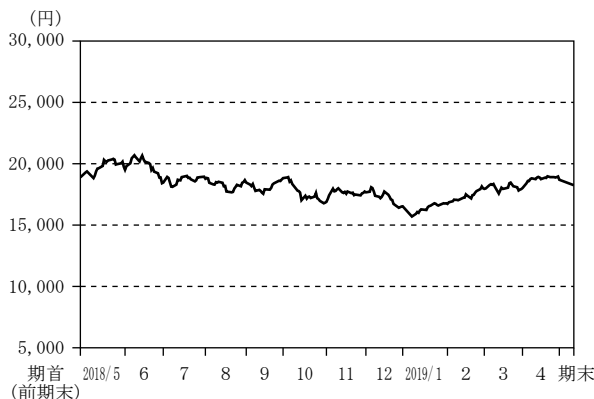
項目	当期末
	2019年5月7日
純資産総額	897,379,578円
受益権総口数	939,274,915口
1万口当たり基準価額	9,554円

(注) 期中における追加設定元本額は88,952,250円、同解約元本額は192,138,721円です。

## 組入上位ファンドの概要

中華圏株式マザーファンド（2018年4月28日から2019年5月7日まで）

### ■ 基準価額の推移



### ■ 1万口当たりの費用明細

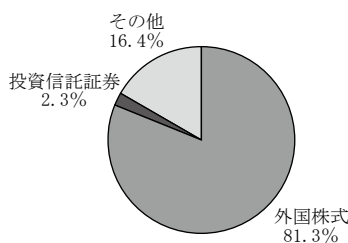
項目	当期	
	2018/4/28~2019/5/7	比率
平均基準価額	18,110円	
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	36円 ( 36) ( 0)	0.199% (0.197) (0.002)
(b) 有価証券取引税 (株式) (投資信託証券)	39 ( 39) ( 0)	0.216 (0.214) (0.002)
(c) その他費用 (保管費用) (その他1) (その他2)	53 ( 53) ( 0) ( 0)	0.294 (0.291) (0.002) (0.001)
合計	128	0.709

### ■ 上位10銘柄

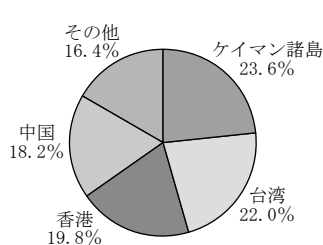
(組入銘柄数 株式：36 投資信託証券：1)

銘柄名	種類	通貨	国	比率
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING	半導体・半導体製造装置	台湾・ドル	台湾	8.5%
AIA GROUP LTD	保険	香港・ドル	香港	6.0
PING AN INSURANCE GROUP CO-H	保険	香港・ドル	中国	5.6
TENCENT HOLDINGS LTD	メディア・娯楽	香港・ドル	ケイマン諸島	4.6
CHINA RESOURCES LAND LTD	不動産	香港・ドル	ケイマン諸島	4.4
HONG KONG EXCHANGES & CLEAR	各種金融	香港・ドル	香港	3.9
NOVATEK MICROELECTRONICS LTD	半導体・半導体製造装置	台湾・ドル	台湾	3.8
CATHAY FINANCIAL HOLDING CO	保険	台湾・ドル	台湾	3.3
CHINA TOWER CORP LTD-H	電気通信サービス	香港・ドル	中国	3.1
CHINA MERCHANTS BANK - H	銀行	香港・ドル	中国	2.8

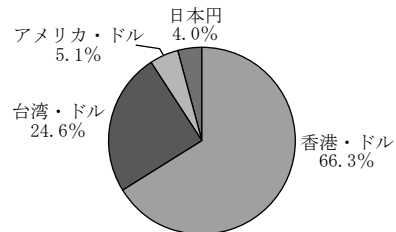
### ■ 資産別配分



### ■ 国別配分



### ■ 通貨別配分



(注) 組入銘柄および各配分のデータは直近の決算日現在のものです。

(注) 組入銘柄および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

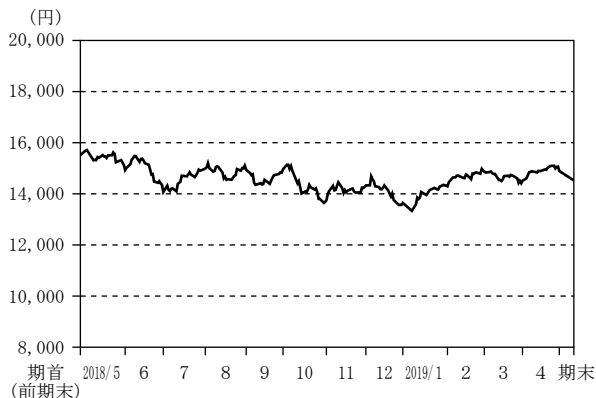
(注) 国別配分は発行国を表示しております。

(注) 1万口当たりの費用明細は直近の決算期のものです。費用項目につきましては2ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

# ASEAN地域株式マザーファンド (2018年4月28日から2019年5月7日まで)

## ■ 基準価額の推移



## ■ 1万口当たりの費用明細

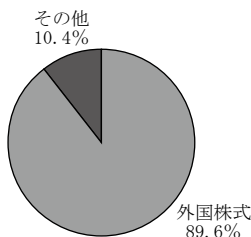
項目	当期	
	2018/4/28~2019/5/7	
	金額	比率
平均基準価額	14,593円	
(a) 売買委託手数料	49円	0.339%
(株式)	( 49)	(0.339)
(新株予約権証券)	( 0)	(0.000)
(b) 有価証券取引税	23	0.156
(株式)	( 23)	(0.156)
(新株予約権証券)	( 0)	(0.000)
(c) その他費用	228	1.562
(保管費用)	( 227)	(1.559)
(その他1)	( 1)	(0.003)
(その他2)	( 0)	(0.000)
合計	300	2.057

## ■ 上位10銘柄

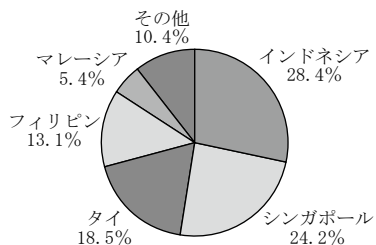
(組入銘柄数：55銘柄)

銘柄名	種類	通貨	国	比率
CHAROEN POKPHAND FOODS-NVDR	食品・飲料・タバコ	タイ・パーツ	タイ	4.6%
KEPPEL CORP LTD	資本財	シンガポール・ドル	シンガポール	4.3
BANK MANDIRI TBK	銀行	インドネシア・ルピア	インドネシア	3.8
WILMAR INTERNATIONAL LTD	食品・飲料・タバコ	シンガポール・ドル	シンガポール	3.8
RAMAYANA LESTARI SENTOSA PT	小売	インドネシア・ルピア	インドネシア	3.2
DBS GROUP HOLDINGS LTD	銀行	シンガポール・ドル	シンガポール	3.0
SINGAPORE TECHNOLOGIES ENGINEERING	資本財	シンガポール・ドル	シンガポール	3.0
VENTURE CORP LTD	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	シンガポール・ドル	シンガポール	2.9
SEMEN INDONESIA PERSERO TBK	素材	インドネシア・ルピア	インドネシア	2.6
SINGAPORE AIRLINES LTD	運輸	シンガポール・ドル	シンガポール	2.5

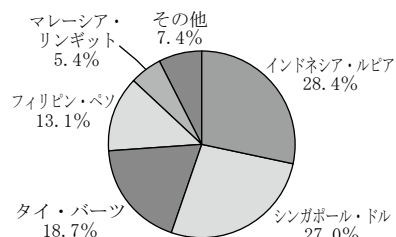
## ■ 資産別配分



## ■ 国別配分



## ■ 通貨別配分



(注) 組入銘柄および各配分のデータは直近の決算日現在のものです。

(注) 組入銘柄および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 国別配分は発行国を表示しております。

(注) 1万口当たりの費用明細は直近の決算期のものです。費用項目につきましては2ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

## 指数に関して

### ○当ファンドの参考指数について

当ファンドの参考指数は、当社が円換算したMSCI ゴールドンドラゴンインデックス（税引前配当込み、ドルベース）【出所：MSCI】65%とMSCI 東南アジアインデックス（税引前配当込み、ドルベース）【出所：MSCI】35%を独自に合成して算出したもので、設定日を10,000として指数化しております。なお、指数算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して営業日前日の指数を営業日当日の三菱UFJ銀行が発表する対顧客電信売買相場の仲値（TTM）で円換算しております。

#### MSCI ゴールドンドラゴンインデックス（税引前配当込み）

MSCI ゴールドンドラゴンインデックス（税引前配当込み）は、中国・香港・台湾のMSCI 指数で構成されています。同指数は、MSCI が発表しており、同指数に関する情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その正確性及び完全性をMSCI は何ら保証するものではありません。その著作権はMSCI に帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

#### MSCI 東南アジアインデックス（税引前配当込み）

MSCI 東南アジアインデックス（税引前配当込み）は、シンガポール・マレーシア・インドネシア・タイおよびフィリピンのMSCI 指数で構成されています。同指数に関する情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その正確性及び完全性をMSCI は何ら保証するものではありません。その著作権はMSCI に帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

### ○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

#### 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）とは、東証第一部上場全銘柄の時価総額を基準時の時価総額で除して算出したわが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する一切の知的財産権その他一切の権利は株式会社東京証券取引所に帰属します。

#### MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI コクサイ・インデックスはMSCI が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCI に帰属します。

### **MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）**

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCIが開発した新興国の株式市場の動きを捉える株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。

### **NOMURA-BPI国債**

NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が公表している指数で、日本で発行されている公募利付国債の市場全体を表す投資収益指数です。その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、対象インデックスを用いて行われるT&Dアセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

### **FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）**

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### **JPMorganGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）**

JPMorganGBI-EMグローバル・ディバーシファイドは、JPMorgan社が算出し公表している、現地通貨建てのエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJPMorgan社に帰属します。

**T&D**

T&D保険グループ